

京都府立京都学・歴彩館 海外若手研究員による 府民向けセミナー（開催報告）

2025 年 3 月 11 日
京都府立京都学・歴彩館
075-723-4835

京都府立京都学・歴彩館では、世界とつながる京都学の研究・交流拠点をめざし、国内外からの幅広いアプローチにより京都文化の普遍的な価値を研究、発信するため、2017 年度から、日本研究・京都研究の優秀な海外若手研究者を京都学研究員として招聘しています。

このたび、2024 年度の京都学研究員による府民向けセミナーを下記のとおり開催しましたので報告します。

記

- 日 時 2025 年 3 月 11 日（火） 13 時半～14 時半
- 場 所 京都府立京都学・歴彩館 小ホール
- 講 師 京都学研究員 ハン ジヘ（韓国）
- テ ー マ 「東松照明と《京まんだら》
ーステレオタイプを超え、日本のアイデンティティを再考するー」
- 参 加 者 計 43 名

■ セミナーの様子

東松照明は、在日米軍基地とその周辺の光景を被写体とした「占領」シリーズで有名な戦後日本を代表する写真家の一人である。本セミナーでは、その東松照明が京都の寺院や宗教行事等の伝統文化を撮影した「京都」シリーズ《京まんだら》に着目し、彼がいかにナショナルアイデンティティの問題にアプローチし答えようとしたかを探求する研究発表が行われた。

講師の発表のあと、活発な質疑応答が行われ、研究者と参加者の交流を図りつつ、研究内容についての理解を深め、好評を博した。

■ 参加者コメント（抜粋）

- ・「何十年も前に東松照明の写真展をみたが、長い間見聞きする写真家でなく懐かしかった。今回の発表でもっとたくさん写真がみられると良かった。」
- ・「東松照明について、知らなかったことをまた一つ知りました。」
- ・「とても興味深い内容でした。ハンさんが来日後の短期間でここまで調べられたのかと驚きました。」
- ・「視覚的にもわかりやすい内容でした。」
- ・「聞きに来ている人は一般の方も多く、彼らに対しては難しいのではと思った。学会レベルの専門性があり、専門家をより多く招いた方がハンさんの研究のために良かったのではないかと思った。」
- ・「私は在日韓国人ですが、他の外国人がどのように日本文化・日本人を見ているかに関心があり、テーマに興味をもって参加しました。セミナーの内容はとても刺激的でした。」
- ・「ほどよい若い研究者の発表でした。今後の研究に期待し、楽しみにしています。」

府民向けセミナーの様子

